

川上ダム通信

2014
7
月号



Vol. 106

Since 2005

独立行政法人水資源機構 川上ダム建設所
〒518-0294 三重県伊賀市阿保 251 番地 TEL: 0595-52-1661 (代)

川上ダム通信は川上ダムホームページでもご覧いただけます。
<http://www.water.go.jp/kansai/kawakami> 又は「川上ダム通信」で検索
ご意見・ご感想はこちらへ <mailto:somu1@lily.ocn.ne.jp>



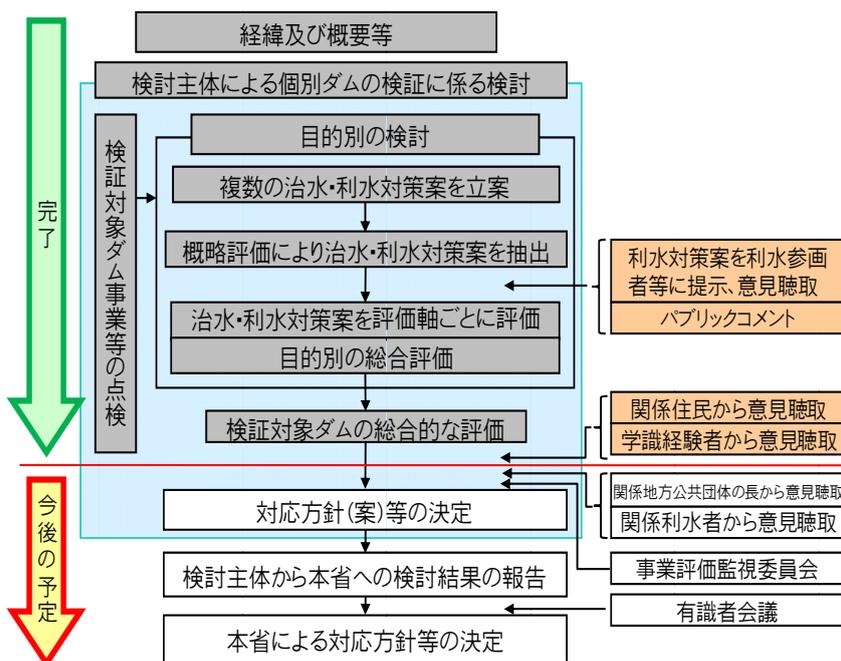
ダム検証 関係住民からの意見を聴く場開催 学識経験者からの意見を聴く場開催

川上ダム建設事業の検証に係る検討について、これまでの検討結果をまとめて作成した報告書（素案）に対して、「関係住民からの意見を聴く場」および「学識経験者からの意見を聴く場」が開催されました。

「関係住民からの意見を聴く場」は6月7日に八幡市文化センター（京都府八幡市）、6月8日にハイトピア伊賀（三重県伊賀市）で開催され両会場で計13名の方が意見を述べられました。また、



関係住民からの意見を聴く場（伊賀市会場）の様子



川上ダム検証に係る検討の流れ

「学識経験者からの意見を聴く場」については、6月16日に近畿地方整備局（大阪市）で開催され、あわせて5月27日から6月25日にかけて、インターネットなどによる意見募集も行われました。

今後、これらで頂いた意見と、これから実施する関係地方公共団体の長（三重、大阪、京都、奈良の各府県知事）および関係利水者（伊賀市長）への意見聴取結果を踏まえて、報告書（原案）を作成し、事業評価監視委員会の審議を経て、検討主体（近畿地整・水資源機構）として対応方針（案）を決定します。その結果を国土交通省本省へ報告し、国土交通大臣が対応方針を決定することとなります。

【調査設計課 大谷知樹】

伊賀市と今後の連携を確認

6月3日（火）に伊賀市の水道部長、建設部長、青山支所長ほか11名、合計14名の方々に川上ダム建設所にお越しいたごき事業説明会を実施しました。

当日は、機構から事業及び付替県道工事の進捗状況、環境保全への取り組み等に関する説明を行った後、伊賀市から周辺市道の工事状況等について説明をしていただきました。

その後、ダムサイトや付替県道青山美杉線の工事現場、付替県道青山美杉線と市道川上種生線との交差点予定箇所等を視察していただきました。

今後とも伊賀市と情報を密にして連携を図りたいと思います。

また、説明会の際に伊賀市建設部長より、「ダム通信という手段を用いて地元へ情報発信を続け、100号を超える発行を心がけてくれたことに感謝します。今後も引き続き、地元に着型のダム通信を事業完成まで続けていただきますようお願いいたします。」とのお言葉をいただきました。これを励みに引き続き事業や工事の状況等に関する情報をできるだけわかりやすく発信していきたいと思ひます。



付替県道青山美杉線・市道川上種生線交差点付近



活発な意見が交わされた意見交換会

【工務課 関根隆好】

桐ヶ丘住民説明会を開催



説明に耳を傾ける桐ヶ丘住民の方々

6月15日（日）、伊賀市桐ヶ丘にある多目的施設「アミティ」において、桐ヶ丘自治会の方々を対象とした「平成26年度 川上ダム事業説明会」を開催しました。

事業説明会では、川上ダム建設事業の進捗状況と、平成25年度に桐ヶ丘団地と湛水予定区域の間にある尾根で実施した、湧水・地下水位調査の結果について説明しました。

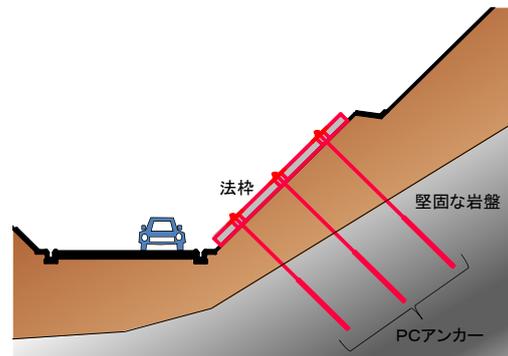
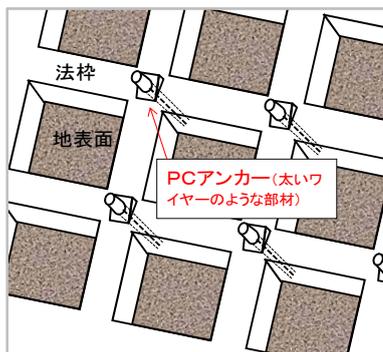
湧水・地下水位調査の結果では、例年同様、年間を通じて湧水が確認されるとともに、現状の地下水位が常に貯水池の最高水位よりも高い位置にあることを確認できたところです。

川上ダムでは、今後とも必要な調査を継続し、関係地区の皆様に対して川上ダム建設事業に関する情報をお知らせしてまいります。

【調査設計課 遠本和也】

グラウンドアンカー工って知っていますか？

山道をドライブすると道路^{のり}法面をモルタルで吹き付けていたり、格子状の法枠を設置していたりするのがよく見かけますが、たまに法枠に突起物がついている場合があります。これら^{こう}の多くはグラウンドアンカー工^{こう}と言って、法面を安定化させるための対策工の一種です。



グラウンドアンカー工のイメージ図

右のイメージ図にあるように、突起物には太いワイヤーのような部材がついており、堅固な岩盤まで達しています。これをPCアンカーと言ひ、岩盤から抜けないように岩盤と一体にすることで、法枠で法面を固定させる仕組みとなっています。

なお、付替県道青山美杉線においても、猫また大橋下流側の道路法面の安定化を図る目的でグラウンドアンカー工を施工中であり、12月完成予定です。

【工務課 関根隆好】



県道松阪青山線で見られるグラウンドアンカー工

ダム用語集 #2 重力式コンクリートダム

今回のダム用語集では、ダムの型式のひとつである「重力式コンクリートダム」について紹介します。

「重力式コンクリートダム」は、コンクリートを主要材料としてコンクリートの重さを利用し、ダムの自重で水圧に耐えるのが特徴です。建設には、膨大な量のコンクリートが必要であり、基礎岩盤（ダムの重さを支える土台となる岩盤）が堅固な地点が条件となります。川上ダム（高さ90.0m）も「重力式コンクリートダム」で計画されています。



比奈知ダム

ダムの型式には、この他にもまだまだありますので、興味のある方は調べてみてください。

三重県の主な重力式コンクリートダム(高さ順)

ダム名	所在地	堤高	管理者
宮川ダム	三重県多気郡大台町	88.5m	三重県
蓮(はちす)ダム	三重県松阪市	78.0m	中部地方整備局
君ヶ野ダム	三重県津市	73.0m	三重県
安濃ダム	三重県津市	73.0m	東海農政局
比奈知ダム	三重県名張市	70.5m	水資源機構

(出典：2012「ダム年鑑」より)

【工事課 飯島芳則】

きれいな川づくりの第一歩 ～アユ解禁前に河川清掃を実施～

木津川など伊賀川漁協管内のアユ漁は、6月8日（日）に解禁されましたが、川上ダム建設所では、その解禁日を前に（6月5日）、前深瀬川の下流部（大井手橋から木津川との合流点付近）においてゴミ拾いを行いました。

当日は小雨が降り続き、また時折強い風が吹くあいにくの天気ではありましたが、アユ漁のメインの釣り場のひとつである新田中橋を中心に、少しでもきれいな川づくりに貢献できればとの思いで実施しました。短時間での作業ではありましたが、軽トラックいっぱいのゴミを回収しました。

川上ダム建設所では、川に携わる仕事をする者として、常日頃から河川環境に注意を払って業務を実施しています。今後も、同じ河川に関わり川をよく知る伊賀川漁協と連携して、きれいな川とその川に育まれる魚などと共存できるよう取り組んでいきたいと考えています。

なお、青山地区においては、9月からアユの網漁が解禁になるので、友釣りは8月末までがお勧めです。皆様も大物を狙って竿をお持ちになりませんか。その際に出たゴミは、各自ちゃんと持ち帰りましょう。



黙々と作業に取り組むスタッフ



当日の成果と参加メンバー

【第一用地課 河田洋弥】

本紙に対するご意見と掲載記事を募集します♪

当建設所では、読者の皆様により一層親しみながら川上ダム通信をお読み頂けるよう、本紙に対するご意見や掲載記事を募集しています。詳細については、下記までお問い合わせさせていただきますようお願いいたします。

【問い合わせ先】 総務課 梅村 TEL：0595-52-1661 Mail：somu1@lily.ocn.ne.jp

※掲載記事については、広告など営利目的のものはお受け致しかねますのでご了承下さい。

イベントのお知らせ

第30回 青山夏まつり

開催日：7月20日（日）

開催場所：青山公民館周辺

お問い合わせ：青山夏祭り実行委員会

TEL：0595-52-1121

逆柳の鮎穴まつり

開催日：7月27日（日）

開催場所：伊賀市高尾 逆柳の鮎穴

お問い合わせ：千方伝承会 広報担当 年岡氏

TEL：080-2613-1880

編集後記

伊賀地方も6月8日の梅雨入り後、じめじめした日がしばらく続いております。何となく気分も下がり気味ですが、梅雨明けは7月20日前後と言われており、梅雨が明ければ本格的な夏到来です!!

今年の夏も熱中症から身を守り、こまめな水分補給を心がけましょう。

【広報誌発行事務局】

編集長 神矢（所長）

デスク 梅村（総務課長）

記者 渡辺（総務課）

桐山（第二用地課）

金井（環境課）

日隈（工務課）

田中（工務課長）

高橋（第一用地課）

大谷（調査設計課）

飯島（工事課）